

Hottoshobu

17

R4 (2022). 7



【特集】読書で涼む

2・3……新刊紹介

4・5……特集

6・7……投稿コーナー

8……編集後記

新刊紹介

『あの子のことは、なにも知らない』

栗沢まり／作 ポプラ社 YF クリ

中学最後の行事「卒業祝賀会」を成功させるため、実行委員長の美咲はみんなをビシバシ仕切っていく。自分が絶対に正しい、と思っていた。カッコいいお母さんもあこがれの先生も、みんな美咲を認めてくれていた。でも……。

「いろんな家庭事情や個性の人がいる」と言葉ではわかっている、本当の意味で理解しているかどうかは怪しいものです。どうしようもないヤツと思っていた人の背景を知ったとき、美咲の世界はひっくり返りました。この本を読んだあなたの世界はどうなるでしょうか？



『図説一冊で学び直せる日本の神様の本』

島田裕巳／監修 ワン・パブリッシング Y172 ス

「大人として、これだけは知っておきたい」と表紙に書いてありますが、10代のみならずにもオススメです！

たった60ページ弱で日本の神話のハイライトがサクッとわかります。さらに、近くの神社で祀られている神様がどんなことをして何の御利益があるかもわかっちゃいます。さらにさらに、歴史と宗教の関係、年中行事、神社など、日本の神様にまつわる幅広い知識が詰まっているので、和の心を持った皆さんはぜひチェックしてみてください！



『空を見上げてわかること』

身近だけど知らない気象予報士』

斉田季実治／著 PHP 研究所 YF451.2 サ
このところ空を見ていないなあ。タイトルを見てそんなことを思ったら、つい手にとっていました。毎朝テレビで見る天気予報、そして「気象予報士」の人たち。テレビで見るのは数分のことですが、それを伝えるためには、やはりたくさんのことを学んで感じて考えているようです。「気象予報」だけにとどまらない大切な考え方に触れたように思います。久々に見上げた空はちょっと見え方が変わったような気がしました。



その他の新刊

『イラストでわかりやすい! 愛犬との絆がぐーっと深まる本』

ゆき／著 KADOKAWA Y645.6 ユ

『数学クラスタが集まって本気で大喜利してみた』

いっくん／著 KADOKAWA Y410.7 イ

『ぼくたちのスープ運動 小さな思いやりが世界を変える!』

ベン・デイヴィス／作 渋谷弘子／訳 評論社 Y933.7 テイ



【特集】 読書で涼む

あなたの後ろにいるだれか

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

恩田陸ほか／著 新潮社 YF ア

真夏の暑い夜に、背筋が凍るホラー小説はいかがでしょう？恩田陸、阿部智里、宇佐美まこと、彩藤アザミ、澤村伊智、清水朔、あさのあつこ、長江俊和ら豪華人気作家たちが織りなす8つのホラー・アンソロジー。怪異を描く王道ホラーをはじめ、何よりも怖いのは人間かも・・・と感じる作品など、それぞれ違った味わいのある短編を堪能できます。終始不気味な雰囲気、ゾクっとしたい人におすすめです。

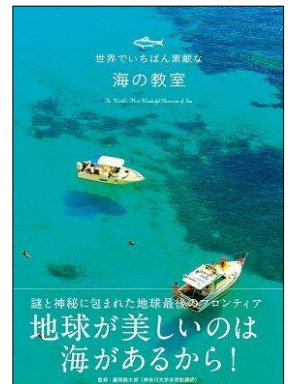


世界でいちばん素敵な海の教室

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

藤岡換太郎／監修 三オブックス Y452 セ

表紙の写真をご覧ください。とっても綺麗で澄み渡る海・・・見ただけで涼しく感じてきませんか？この本では、海はどうして青いの？海の水はどうして塩辛い？波はどうしてできるの？といった海に関する素朴な疑問を、美しい写真とやさしい文章で解説しています。全ページフルカラーで掲載された絶景の海から、涼とパワーをもらえます。

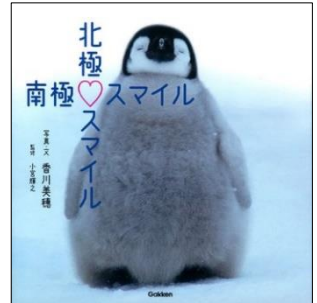


西図書館 YA コーナーの7～9月の特集コーナーでは、ゾクッとするようなホラー小説、爽快感のあるスポ根小説、水や海に関する本など、ひんやりと涼しくなれるような本を特集します!今年の夏は、読書で涼を感じてみませんか?

北極スマイル♡南極スマイル

香川美穂／写真・文 小宮輝之／監修 学研プラス Y482 ホ

寒い北極・南極に暮らす可愛い動物たちの写真集。表紙の写真は、雪の中でぐっすり眠るエンペラーペンギンのヒナです。思わず口が緩んでしまう可愛さ・・・こんなあざとい子のほかにも、それを超えるもっとあざとい子グマや、まんまるでもふもふなアザラシなど、癒し効果抜群の動物たちに出会えますよ。



どうぞ愛をお叫びください

武田綾乃／著 新潮社 YF タア

幼馴染から Youtuber をやらないかと誘われた男子高校生の松尾。近付きたくない人間ランキング1位の坂上や美声をもつ夏目先輩とともに、4人でゲーム実況動画を撮ることになり……。シュワツと爽やかな THE★青春小説ですが、Youtuber をやる中での葛藤や挫折も描かれていて、飽きることなく一気に読み進められる一冊です。



【次回特集】 始まりの書

ちょっと気になることがあるんだけど何を讀んだら……、
というときに読むとよさそうな本を紹介します。



【投稿コーナー】

みんなの「ほっ図書館」

みんなからのコメント・イラストを募集するこのコーナー。今回は、投稿してくれたものの中から2冊の「オススメ本」と3点のイラストを紹介します。西図書館 YA コーナーにある投稿 BOX で随時募集中です。皆さんの投稿をお待ちしています。

『都会(まち)のトム&ソーヤ』

XX

はやみねかおる／著 講談社 YFハカ

この本を読んでみて「冒険」という言葉がふさわしいと感じました。主人公の内人と創也が最強のゲームを作る物語です。この本でおすすめしたい点は主人公以外でも独特な人物が多い点です。他にもたくさんおすすめしたい点がありますがこれ以上に物語を知りたい人はぜひ本を借りてみてください。(P.N. M.M)

『4歳の僕はこうしてアウシュヴィッツから生還した』

XX

マイケル・ボーンスタイン／著 森内薫／訳 NHK 出版 YF936ヨ

1940年にドイツ占領下のポーランドに生まれたマイケルが4歳でアウシュヴィッツ強制収容所に送られ、他の子どもが次々に殺されていくなか、6か月間も生き延び生還したという話。何としてもマイケルを守ろうとする母、祖母の姿にとても感動した。決して諦めない心や運もないと生き残れないことにも感動した。(P.N. H.K)



『鬼子ちゃん』
P.N. ばるびんごさん

『花と「」』
P.N. とりざかな(♫)しらす線画民さん



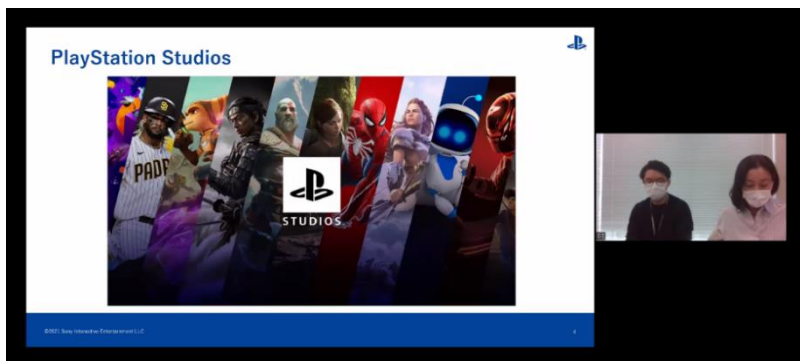
『エルフ』
P.N. 39さん



編集後記

3月30日に開催したオンライン講座「ゲームが好き!英語が得意なあなたに!ゲーム・ローカライズの魅力に迫る!」は、たくさんの方に申込みいただき、当日も大盛り上がりでした!講師はソニー・インタラクティブエンタテインメントの関根さんと大島さん。海外で創られたゲームを日本語でプレイできるようにする作業を「ローカライズ」と言います。キャラクターのセリフだけでなく、技やマップの説明 etc.・・・ゲームに関する言語を全て翻訳していく気の遠くなるような作業!講座では実際にゲーム画面を見ながら英語セリフと日本語セリフを聞き比べたり、チャットで私だったらこんな風な訳にするかも?とワイワイ盛り上がりました😊

そして、そして!8月28日には第二弾として「ゲームが好き!英語が得意なあなたに!ゲーム・ローカライズの魅力に迫る!Q&A編」を開催します!申し込みは7月1日から受付予定です。ゲームを創るお仕事の裏側を知ることができる貴重な機会!詳しくは船橋市図書館ホームページをチェックしてね📄



ほっ図書部(17号)令和4年7月発行
船橋市西図書館YA担当 電話 047(431)4385

Twitter



HP



Facebook

